

# 謹賀新年

ち の み ご

# 子夜児

平成 31 (2019) 年 1 月 1 日

株式会社まほろば 代表取締役社長

宮下 周平

## 万物は数なり

物事の終始は 7 年にある、とある会計学者に聞いた。

会社の栄枯盛衰を長く統計分析し続けて来た結果であるという。

恐らく人生の節目も、それに似たバイオリズムがあるのかもしれない。

まほろばも、振り返ってみると、この 7 年の 5 倍、35 年目を今年迎える。

それで、振り出しの 1 年に復す数字の不思議さに、所縁の 1-753 の吉数を与えられた因縁を思うのである。

中国北宋の易学の大家、邵康節は「万物は数なり」と看破して、宇宙の開闢閉息の年代まで算出しているのには驚かされる。

## 節目の年

まさに、まほろばの節目でもある。

そして、加えるに日本の節目でもある。

幸いにも改元の年、天皇が上皇に御成りになられ、新天皇が御座にお即きになる奇遇の大節に当たる。



## 平成最後の歳 年頭のご挨拶

明治45年、大正15年、昭和64年、平成31年の約150年の幕が閉じ、正に新時代が到来せんとしている。明治維新、太平洋戦争、東日本大震災という大波濤<sup>はとう</sup>を超えて日本は今にある。次はいかなる荒波が待ち構えているであろうか。

AI時代、IT技術が人類世界を牽引するも、未だ平和到来の予兆の微音さえ聞こえない。ますます混沌を深め、いよいよ無明を濃くするばかりだ。

人が、心が、自然が、ポツンと置き去りにされている寂寥<sup>せきりょう</sup>の感が、どうしても否めないのは、独り私だけであろうか。

### 天地の開闢<sup>かいこく</sup>

今年は、亥年の巡りである。

亥は、核にして「核心」に通じ、「革命<sup>あらた</sup>」に通ずる。

そして、来年は子年である。ともに、十二支の終わりにして、始めでもある。

即ち、天地の開闢<sup>かいこく</sup>である。万事万物万人、終わりがあれば、始めがあり、始めがあれば終わりがある。至極当然ながら、自然の流れに身を任せるのみ。その意味でも、今年と来年は、国内国外、会社個々人も重要な立ち位置にあるといえよう。

### 赤子に学ぶ

これを、乗り越えるには、いかに処すれば良いか。それは、干支<sup>えと</sup>が教えてくれている。

亥と子を合わせると孩となる。中国音で「孩子<sup>ハイズ</sup>」、即ち赤ん坊の意、赤子ともいう。

老子は、これを「嬰兒復帰」と説いた。

これは、宇宙を大母として、我々はその乳飲み子であるという大意である。赤き心、即ち赤

ん坊のような心を以て、大自然に従う、歩むべきそれを、大道と称した。

等しく「汝等幼な児の如くならずんば、天国に入ることを得ず」と語ったイエス。

赤子ほど、最も柔かくして弱く、知識なくして、無欲。為に、みなに愛されて育てられる。これを大徳という。それは谷のように水が注ぎ込み、水のように器を選ばず、万物を潤して争うことがなく、いつも低き方、低き方に流れて、

みな嫌がる底に留まるを良しとする。この生き方が、万古不変の幸福への道だと、力説しているのだ。まさに、赤子に学べ、と。

だが、大人は、力に頼み、強きを誇り、多きを求む。

「民に利器多くして、国家ますます昏<sup>くら</sup>し」と、老子は、今の世を見たかの如く語る。

結局は、利器多きコンピューターの機器世界では、益々国も人も、昏迷<sup>こんめい</sup>になるばかりだと、看破している。それは、自然に従う、天然素朴に寄り添うより他に、残された道はないと予言している。

まさに、次代を生きるには、覚悟が要る。決心が要る。そして、確信が要るのだ。

### 改めて、新年のご挨拶

改めて、旧年中のご愛顧に、心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

本年もまた、よろしくご最<sup>ひいき</sup>願<sup>ねが</sup>い申し上げます。

皆様方とご家族にとって、今年は輝かしい年でありますように、

まほろば従業員一同、お祈り申し上げます。





# 親離れ、子離れ

株式会社まほろば 顧問  
株式会社まほろば自然農園 代表

宮下 洋子

明けましておめでとうございます。

年々歳々、年を重ねて、早や74歳にならんとしています。

今では、少しは終活の考えもあるけれど、まだまだ好きのように、心の赴くままに、後先の事も考えないで、目一杯働きながら生きて行きたい。その方が楽しいし、世の中の為にもなります。農業は生涯現役で働ける有難い職業なんです。

## 何でも有難くなってくるから不思議です

若いころは、今よりも、その日その日が目一杯、精一杯で、何かの折に触れる時以外は、何かにつけて、感謝の気持ちが希薄だったような気がするけれど、年取るにつれて、何でも有難くなってくるから不思議です。

よく、「苦勞しなければ有難さも分からない」と言われますが、果たしてそうでしょうか？

目一杯、精一杯生きているときは、有難いとも思わないけれど、苦勞を苦勞と実感する余裕もなく、苦勞や感謝に浸っていたら前に進めませんでした。

だから、今は、若い時ほど、目一杯、精一杯に生きていないせいなのかもしれません。

## 旭川で新規就農

今まで、3年近く一緒に農業をやって来た息子は、今年から旭川のペーパーン（米飯）というところで、独立し、新規就農することになりました。おそらく、小別沢の川合さんと同じくらい、いやそれ以上に寒暖の差が大きく、一から土づくりを始めなければいけないし、何から何までほとんど新しく買わなければいけないの

で、苦勞や失敗も大きいのではないかと思います。

## 今年の関門

しかし、息子が親離れするのを、応援しないわけにはいきません。子供が親離れすると

いうことは、親も子離れしなければいけないわけで、特に主人は、今まで息子や池田さんに頼って来た農作業のほとんどを、池田さんと二人で引き継がなければいけなくなってしまいました。池田さんの週2日のお休みと、朝早くと、夕方遅くの男仕事は、主人が一人で引き継がなければなりません。

第一関門は、今まで息子がやっていた、農園と自宅周りの除雪です。

トラクターに、スノウブローアーと言うアタッチメントを取り付けて除雪をするのですが、自称、機械が苦手な主人としては、慣れるまではなかなか大変です。でも、だんだん上手になってきたようです？やる気も責任感も強くなり、第一関門の通過でしょうか。何かと体を動かすことが多いので、今年の冬は、例年ほど体力の低下は心配いらなようです。

## 目一杯精一杯の旅路

息子は息子で、新しく住む7～80年前に建てられた農家住宅を、お金が無いので、寒さの厳しい旭川で、一人で改装しています。息子が



## 平成最後の歳 年頭のご挨拶

自分で選んだ道なのです。

息子に心配かけないように、子離れすることが、息子を応援する事だと戒めています。これから、お互いに、親離れ、子離れの旅が続きます。今年は、お互いに、感傷に浸るヒマのない、目一杯精一杯の旅路です。

さて、そのような中で、お互いにどんな野菜が作られていくのでしょうか？

新年にあたっての私たちの覚悟です。

本年も、相変わりませず、よろしくお願い致します。

## クオリティ・オブ・ライフをキーワードに 「命の基」をお届けできたら

常務取締役 本店店長 **大橋 和則**

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は多くのご愛顧を賜り、誠に有難うございました。

平成最後の年が「災」の漢字で象徴された様に、幾度もの自然災害が襲いました。被災された方、復興途中の方々にお見舞い申し上げます。



北海道に於いても異常気象や台風による農作物の被害は取引先にも多大な影響を及ぼし、胆振東部地震やブラックアウトの大停電など、自然の前には何もできない人間の無力さと限界を感じました。

### 「まさか」が「またか」に

店の方は地震の被害もほとんど無くブラックアウトの時も発電機で休まず営業、直ぐに売り出しでしたが変更せず行い、来店出来ない方のために次週も売り出しをさせて頂きました。

その間、取引先からの心配や励ましの声を、お客様からも感謝の声を数多く掛けて頂き、改めて人の「情緒」を深く感じ、何が大切かを学ぶことが出来ました。

「まさか」の出来事が「またか」になりつつある昨今、人間力が益々試される事が増えてきそうな予感がします。

### 「モノからヒト」「量から質」へ

最近、医療や福祉の現場で使われている言葉にQOL（Quality of Life クオリティ・オブ・ライフ）があります。[生活の質]などと訳されていますが、人間らしく満足して生活しているかを尺度としてとらえる概念です。経済優先で物質的な豊かさを求めて私たちは本当に幸せになったのか？ という疑問がQOLを後押ししています。

「モノからヒト」「量から質」への転換を表すキーワードであり、様々な場面で用いられるようになって来ています。「私たちの心を豊かにしてくれるものは何か？」が今後の社会全体が求めていく問いになり、価値観の転換期でもあります。その答えの糸口がまほろばであり、まほろば農園でありたいとも思います。



## 「まさか」を実践し「どう生きるのか？」 の問いかけ

社長夫婦自ら仁木町へ移住し、百姓を3年前から始め、決して楽ではない選択をしてまで土に触れ、風を感じ、不慣れな機械を使い、効率の悪い自家採種を行い、更に効率が悪い多品種栽培を頑なに止めず、決して黒字にはならないであろう農業に全精力をかけてまで、「生命力のある野菜・病気が治る野菜をお客様に沢山食べて欲しいから」と作り続けています。どうしてそこまで立ち向かうのか？「まさか」を実践し「どう生きるのか？」の問いかけと価値観の転換を、概念ではなく実践している事に深い意味があると思います。

情報過多の時代ではありますが、何が正しくて何が間違っているのか？ 偏見、先入観や固

定観念。常識という思い込み…。補う足し算ばかりが多く、執着し過ぎることによって本質が見えなくなり、逆にバランスを崩している今、手放す引き算も重要なポイントとも思います。

これまでもこれからもまほろば独自の視点で、食・環境・健康・人生をキーワードに、正しい情報を通して命の基をお届けできたらと思います。

## 35年の大きな説目

今年はまほろばも、この地で産声を上げ35年の大きな説目を迎えますが、平成も終わり新たな年号がスタートします。初心に帰り、従業員一同皆様のお役に立てるよう、日々精進して参る所存です。

本年が皆様にとって幸多き1年で有りますようご祈念いたします。

# 一人の強く深い想いは、世界に大きな 変化と影響を与える

常務取締役 編集長 島田 浩

2019年、新年あけましておめでとうございます。いつもまほろばをご最厚いただき、心より感謝申し上げます。

去年は全国で多くの自然災害がありました。



被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

自然の猛威の前に立ち尽くし、人間の小ささを思い知った年でもありました。世界情勢や急進的な技術の発展

を見ても、気軽に明るい未来の展望を語れなくなってきた昨今です。

## ルイスさんと森林農法

そんな中、昨年末、コーヒーの記事を作る際に、社長から「ウインドファームさんのホームページを見るように」とのメールが。そこには代表の中村さんのコラムで、メキシコに環境派の新大統領が誕生した記事とともに、それに貢献したトセパン協同組合と、先住民ドン・ルイスさんの事が書かれていました。

ルイスさんの一族はもともと裕福な仲買人の仕事をしていたのですが、地域の発展のため家族の反対を押し切ってその仕事を辞め、トセパン協同組合を設立しました。その彼が手掛けた

仕事こそ、森林農法だったのです。

子供の頃から鳥が大好きだった彼は、ある日、政府が進めるプランテーション栽培のコーヒー農園で、日毎に鳥の鳴き声が減っていくことに気づきます。

—「鳥がいないう人生ほど寂しいことはない。鳥がいなくなる農法は間違っている」と確信したルイスは、鳥を呼び戻すために勉強し、森や森の生き物たちと共生する森林農法を地域に広めました—（ウインドファーム記事参照。別項に印刷していますのでぜひご覧ください）その運動がやがて、森林農法を全国に広めることを公約した、今回の新大統領誕生につながったのです。

ホームページの最後の方に、彼が大木の下で満面の笑みをたたえている写真が目に残りました（ルイスさんは2013年に亡くなられています）。人生に深く満足していることを感じさせるその写真に、惹き込まれ、心を打たれました。と同時に、私も「そんな顔でこの世を去りたいものだ」と、心から思いました。



### 「今現在」があるだけ

量子物理学の世界では、現在、過去、未来という「時間」という概念もなく、「今現在」があるだけであり、未来は、現在が変化することによって無限の並行世界を展開させるという理論があるそうです。（かなり大雑把で恐縮ですが…）要は、私たちの、「今ここ」の思いこそが、どんな未来を創るのかを決めるのだ、という事です。今回のルイスさんの記事で、一人の強く深い想いは、世界に大きな変化と影響を与えるのだと、また確信しました。

### 私たち自身が望むものとは…

世の中の流れについて行くことも大切ですが、それは“誰か”の想いにすぎません。私たち自身が望むものはいったい何か？ たとえ時代に反するようには見えたとしても、心に感ずるものであるならば、深め、追い求めてゆくことが大切なかもしれません。それがまほろばの34年ではなかったでしょうか。

そして、こんな時代だからこそ、私たちにできることがあると思うのです。

自然とともに生きたいと願うすべての方々の想いと共に、大きな夢をもって35年目の一步を歩めたらと思います。

本年もみなさまと共に、食を通じて、からだ、こころ、そして自然の健康回復を目指してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら昨年出版させて頂きました著作をお買い求めいただき、又お声をかけていただきました皆さま、また、快く店頭に置かせて頂いた社長やスタッフの皆さんにも、この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました!!





# 「すべてがひとつに、ひとつがすべてに」 という境地を、皆さまと共に目指して

まほろば厚別店 店長 穂積 豊仁

新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご愛顧を頂きまして、誠にありがとうございます。昨年5月に、息子虎ノ佑が誕生しました。

我が家の中心で、いつも明るい光を放ち輝き、すくすくと成長しております。正月に、初めての飛行機で大阪に帰りましたが、行きも帰りもおとなしくしてくれて安心しました。両親も孫の成長に目を細めていました。



## 自分の心を深く観つめること

誰もが、心平和で、心豊かで美しく、楽しい人生でありたいと願っていると思いますが、やはり、何をするにおいても、基本となるところは人間性です。

どの分野においても、人間性の成長が、鍵を握っています。幼年期から少年期、青年期、壮年期も常に人として成長し、人間性を立派に完成させていくことが大切です。それが自分の人

生を豊かに幸せにしてくれるものであり、ひとりひとりの幸せが、人類全体の幸せに至るために欠かせないことです。

人として育ち、人間性を養うために、基本となるところは、自分の心を深く観つめる、ということにあると思います。日々の生活において、仕事において、何をするにも常に自分を観つめて、自分の良くない心から離れていく事が大切です。良くないことは自分の心が知っており、何が良くないかも分かっているはずですが、その心を改めていく事が、人間性の成長の基本です。自分も忙しさにかまけて、良くない自分が出てしまう事が多々ありますが、今年は改めていきたいと思っています。

## まほろばの思いをお客様へと

平成が終わり、新しい時代の幕開けとなる2019年、まほろばは35周年の節目を迎えます。

今年は、本店、厚別店、仁木農園の連携をより深め、まほろばの思いをお客様に伝えられるように、従業員一同仕事に励んで参りますので、本年もどうぞよろしくお願い致します。

## 「いま幸せかい？」

さて、映画「男はつらいよ」が初公開から50周年を迎えて、22年ぶりの新作、シリーズ50作目が今年公開されます。新しい時代へのギアチェンジをしなければいけないと、監督の山田洋次さんは言います。そして今僕たちは幸せだろうか？と問います。ひとりひとりがどう生きるかということを、それぞれが考える年になるでしょう。寅さんが語り掛けます「いま幸せかい？」年末の公開が楽しみです。

## 自分の存在そのものに、喜びを感じる こと

最後に、喜びの多い今を生きたい、生きてもらいたいと願う心は普遍の願いです。そのためには、常に今を正しく生きて、人生の季節季節

## 平成最後の歳 年頭のご挨拶

を生きる事が、喜びへと繋がります。喜びの今を生きる事で、感謝の心が自ずから湧きます。自分の存在そのものに、喜びを覚えることが大切で、この素晴らしい自然に生かされているなかで、自分自身のいのちを生きる、そこに喜びを覚えることができれば、どんなに幸せなことでしょうか。

すべてがひとつに、ひとつがすべてに、すべてが別なく、一体となると同時に、それぞれ個々別々となって、存在している絶対の境地の体得

を皆さまと共に目指していきたいと思います。しんと降り積もる雪がここを清め、ここを新たにしてくれます。皆さまにとって幸多い年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。



## 固定観念にとらわれずに

経理部 主任 伊藤 秀子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、格別のご愛顧を賜りまして、厚くお礼を申し上げます。

振り返りますと、豊かな恵みをもたらしてくれる自然に、天候の不順、豪雨、地震など大きな脅威をも見せつけられた一年でした。北海道全域が、何日も停電になろうとは夢にも思いませんでした。街灯や信号機が点いていない漆黒の夜、空を見上げると、今にも降り落ちてきそうな満天の星々。不謹慎にも、キレイ！と口にしておりました。

TVの音、道路を行き交う車の音もなく、文字どおりにシーンと静まり返っていたあの時間、とても心地良く、又懐かしく感じました。日々の暮らしが、どんなにか脆弱な基盤の上に成り立っていたかを痛感し反省した出来事でもありました。

気温が上がったり下がったりが続き、春に咲いた山吹やクリスマスローズが夏に又咲き始め



たり、冬囲いを始めたツツジの横ではクレマチスが満開で、庭に居て首を傾げるばかり。暦に関係なく「いま咲きたいのよー。これでいいのだ！」と言っているように聞こえ、却って固定観念にとらわれている自分に気づかされ解き放してもらえた貴重な体験でした。

年号改めの年、新しき一步をかみしめてまいりたいと思います。

皆様におかれましても、幸多き一年となりますよう、心よりお祈りいたします。



## 仲間と共に、まほろばを盛り上げていきたい

編集部 主任 齋藤 恭兵

新年あけましておめでとうございます。

お正月休み、一日は初詣、二日は両親の家で団らん、三日～四日は私たち一家4人と両親、親戚で、温泉に泊まり、ゆったりと過ごしました。

昨年最後の一週間、私は、子供の風邪がうつったのか体調を崩してしまい、インフルエンザとまでは行かなかったものの、咳が酷く夜も十分に寝られずに休みを頂くなど、スタッフにも迷惑をかけてしまいました。年が明ける頃までにはなんとか回復し、食事や睡眠など、季節ごとの体調管理の大切さを改めて感じながらの大晦日、お正月となりました。

お客様とお話しするなかでも、同じように体調を崩されている方が多いように感じましたが、皆様はどのようなお正月を過ごされたでしょうか。

さて、私にとって2018年は、受け持つ業務の内容が大きく変わり、新しいことを学ぶ機会に恵まれた年となりました。

店舗主任から、編集部の仕事へと異動し、島田編集長とともに、毎月の『まほろばだより』の発行、店内掲示物などの制作、まほろば自然農園 仁木農場の取材・ビデオ制作などに取り組みました。

仕事としては全くの未経験（かつて、自分がやっていたバンドのチラシを作っていた程度）で、デザインとは？ 文章の校正とは？ 編集ソフトや印刷機の使い方は？ などなど…、イチから手取り足取りの指導をして頂き、本当に有り難い思いです。作業が夜遅くなる日もあり、大変な一面もありますが、まほろばという店をより深くお客様にご理解いただくための、やりがいのある仕事と感じています。なかでも、まほ

ろばの食材（野菜や調味料）の良さを活かしたレシピを考案し、実際に何度も試行錯誤して調理し、写真撮影して記事として掲載できたのは、嬉しい第一歩でした。レシピを参考にして頂き、食材の特徴や良さをご理解頂いた上で、各ご家庭のお好みに合うレシピへと、お客様ご自身で完成させて頂けると幸いです。

また、まほろばオリジナルの浄水器『エリクサー』の販売・メンテナンス等の業務も担当させて頂いております。こちらもちからの勉強で、まほろばの哲学、エリクサーの機能性、様々な環境での設置など、多岐にわたる内容を一步步ではありますが学ばせて頂いております。

昨年は、ひとつの物事に取り組むあまり、視野が狭くなる場面もありましたが、今年はもう少し広い視野で、他の業務への協力もバランスよく出来るように心がけて行きたいと思います。

最後に、今年の抱負は、①食べ物をよく噛んで食べ過ぎず、胃腸の調子を良好に保つこと。②何事にも気負わずに自然体で取り組むこと。③起きた物事にある“良い面”を視ること。④一つひとつの業務について、責任を持って行えるよう深く理解すること。以上のことを大切にして、仲間と共に、今年一年もまほろばを盛り上げていきたいと思います。

2019年が、どうか皆様にとって、健康で、心穏やかな一年でありますように。まほろばが、そのお役に立てますように。今年もどうぞ、よろしく願い申し上げます。



# 日々のちいさな発見と出会い、喜びを味わい、 心豊かな楽しい1年を

本店 店舗主任 小島 侑子

あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のお引き立てをいただき、誠にありがとうございました。

日を追うごとに、わずかながら陽のあたる時間が長くなってきている様子を感じながら、2019年はどのような年になるか、宝箱を開けるようなわくわくした気持ちで新年を迎えました。

皆様はどのような気持ちで新年を迎えましたか？

昨年9月に前任の大庭より引き継ぎとなり、バックヤードの仕事から店前の仕事へ就くことになりました。

お客様には、料理のレシピを教えて頂いたり、あるときは手料理の御裾分けを下さったり、色々な楽しい話題で店の雰囲気明るくして下さり、お心遣いの優しいお言葉、何気のない

ありがとうの一言で、心があたたかくなる瞬間をたくさん経験させて頂きました。

お子様たちからは、かわいらしい笑顔とピュアなエネルギーで、癒しと元気なパワーを与えてもらっていたように感じます。

改めて皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

常にお客様のお気持ちに寄り添いながら店頭で接客したいという気持ちではあるものの、なかなか接客というものは難しいもので、時にはご指摘や、助言を頂きハッとし、多々反省することもありました。

何から何まで不慣れで至らず、大変ご迷惑をおかけし心よりお詫び申し上げます。

お恥ずかしいですが、どれをとってもまだまだ試行錯誤の毎日で、引き継ぎご迷惑をおかけする場面もあるかと思いますが、誠実に努めてまいりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

毎年師走に発表されるその年を表す漢字が昨

年「災」とあるように、北海道も思いがけず大きな地震を経験しました。

今もまだ、日常の生活とは程遠い生活を強いられている方がいる中ですが、あの地震が発生してからの数日間、とても印象的で記憶に残っていることがあります。

それは、顔見知りの人はもちろんですが、近所の人をはじめ、全く面識がなくてもお互いを思いやり、気遣う様子が強く表れた

ことでした。

今出来る事を最大限、人のために…。

そんな場面を目の当たりにして人との繋がりの大切さを強く感じ、協力して生きていくという人類の原点に戻ったようで、日常ではなかなか体験できない不思議な時間でした。

また停電の中、見上げた夜空には信じられない程に無数の輝きがあり、それはとても神秘的で、札幌では今までに見たことのない感動の光景でした。

私たちは日々どれだけのものを忘れてしまい、気が付かないまま生活しているのだろう。

この忘れてしまったものを取り戻し、本当に大切なものを大切に扱うことができれば、きっ





と世界は平和になるような気がします。

新年早々にこんな壮大な想いを書いてみましたが、私たちに本来そなわっている魔法のような感覚を発揮し、日々のちいさな発見と出会い、

喜びを味わい、心豊かな楽しい1年を過ごしたいと思います。

皆様の健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

## 今まで以上に大きな輪で繋がっていききたい

本店 仕入れ・バックヤード主任 **福田 直之**

明けましておめでとうございます。  
 昨年は大変お世話になりました。

昨年はなんと言っても突然決まった家庭菜園講座が頭に残ります。説明が苦手な私の講座を聞いてくださったお客様本当にありがとうございました。

安心安全野菜はなかなか難しいです。殺菌剤、殺虫剤は使えないし、天候に左右されるし、有機肥料は効き始めるまでが遅い、等々そんな大変な野菜作りだからこそ面白くもあります。難しいからこそ試行錯誤して面白い。これからも安心安全野菜作りの面白さを広めて、たくさんのお客様に野菜作りを楽しんでもらえたらと思います。

解らないことなど疑問があれば、店内ウロウロしている私を捕まえて、気軽に声かけて頂けると有り難いです。

もう1つは仕入れ担当になったことです。これは本当に難しいです。旬の物、お客様の求めている物、等々いろいろ悩みながら日々仕入れに行かせていただいています。お客様との話の中でこんな物あればとか、こういう物欲しいとか、いつもお客様に助けられながらの仕入れです。ありがとうございます。

それでも昨年10月後半から仕入れに行き始めて、仲買さんとも少しずつ親しくなり、わざわざ売約済みにしておいてくれる仲買さんもいます。



社長から大庭さんとずっと築き上げてきた信頼があるからこそなんだなと心から思いました。そう考えるといつも私は誰かに助けられているんだなと思い、社長、顧問はじめ店長、島田さん社員やパートさん、たくさんのお客様皆様いつも優しく助けてくれます。

そんな中で、私は皆様の助けになっているのだろうかと考えさせられます。この恩を行動に変えて皆様の助けになれば、今まで以上に大きな輪で繋がっていただけるのではないかと思います。感謝の気持ちを常に行動に変えて皆様のサポートをしていけたら嬉しいです。

皆様が今年も楽しく笑いながら良い一年になりますよう心より願って新年の挨拶を終わります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

## 足場を固めながら一步一步

ベーカリー・フィニクス チーフ 宮本 善夫

新年あけましておめでとうございます。

旧年もソフテリアのパンをご利用いただき、ほんとうにありがとうございました。

昨年を振り返り、私の中で印象的だった出来事は、お惣菜部門とパン部門に新しいスタッフが加わったことです。今までと違い、調理師免許をもっていたり、パン部門でも「パン職人を目指す」という意思を持ち、食べ物を作る中での責任やモチベーションを維持できるスタッフが入ってくれたのがとてもありがたいです。

「お惣菜が並んでいる」「パンがある」という「あたりまえ」な状況も、「作り手」としては、その状態までには数えきれない注意点や作業工程の上になりたっていることなので、それに対して一緒に向き合ってもらえる仲間が増えることはほんとうに心強いのです。その気持ちを軸にした今年の目標としては、近所のスーパーにも有機野菜や無添加食品コーナーができ、

消費者の関心が高まりつつある中で、「まほろば」ソフテリアとして何ができるのか考え、単純に商品を並べて売るだけではなく、野菜の生産者や食材の作り手の想いもお伝えしていくこ

とを目標に、新しい仲間と共に「亥年」でも猪突猛進ではなく、足場を固めながら一步一步、まほろばの良さをお伝えできるようガンバって行きますので、ソフテリアの「お惣菜」と「phoenix」のパンを今年もどうぞよろしくお願いいたします。



## 西野のライフラインとして

本店 バックヤード担当 小田島 町枝

明けましておめでとうございます。

旧年中のご愛顧を賜わり、心から感謝し厚く御礼申し上げます。

今年は「平成」の時代が終わり、新しい元号にかわります。平成3年にまほろばに入社した私ですが、まほろばと共に平成の時代を生き抜いてきました。新しい時代になってもまほろばと共に歩んでいきたいと思えます。

昨年は、多くの天災・人災に見舞われました。いつどこで天災・人災が起こってしまうかわからないので、その教訓を忘れず西野のライフラインとして「安心」「安全」そして「美味」な

食材及び情報を提供でき、気持ち良くお買い物ができる店づくりを目指して参ります。

お客様、そして皆様のご家族にとって幸多き一年となりますよう、心よりお祈りしております。本年も、まほろば共々よろしくお願い申し上げます。





## 新規就農のご挨拶

まほろば自然農園 宮下 正大

明けましておめでとうございます。  
社長、顧問の息子の宮下正大です。  
平素よりまほろばをご利用頂き誠に有難う御座います。

突然ですが、ご報告があります。

私は今まで3年間仁木農場で働いていましたが、この度、旭川のペーパン地区に妻、子供、家族三人で移住、就農する事となりましたので、ご報告致します。

正式に認可されたのが、昨年度末12月25日とギリギリだった為、ご報告が遅れてしまいました。

まほろばは継がないのかと言う声もあるかと思いますが、私にはその才覚はなく、自分自身で新たな生活や仕事を作って行きたい、挑戦したい気持ちで今回の決断に至りました。



農園の名前はまだ申請していないので仮ですが、「甘い水農園」と言います。

変な名前に思われるでしょうが、私達が移住

するペーパンとは、アイヌ語で甘い水の川という意味だそうです（諸説あるようですが）。

何故甘い水の川なのかというと、大雪山の麓の集落がペーパン地区なんです。大雪より流れるペーパン川をアイヌの人々はそう呼んだようです。北海道最高峰の旭岳、日本の中でも一番寒い地域の高山で長い年月をかけ濾過された水です。

更にエリクサーの濾材を通して、大自然の恩恵と、両親の理想の結集を注いだ野菜を作りたいという思いを込めまして、この名前を付けさせて頂きました。そのままですが。

「甘い水農園」の野菜は、まほろばと地元のスーパーの直売所にて販売する予定です。今年の夏頃には顔を見られるはずです。

主にはトマトとピーマンをまほろばに卸す予定ですので、見つけたら手に取って頂けると幸いです。

未熟な私達ではありますが、皆様に喜んで頂けるような野菜を作れるよう精進致しますので、今度ともどうか宜しくお願い致します。

## 畑の中で笑顔でいられるよう

まほろば自然農園 スタッフ 池田 尚樹

明けましておめでとうございます。  
昨年も、まほろばおよび、農園の野菜をご利用いただきましてありがとうございました。  
日本全国、否、世界各地で度重なる災害・災難に見舞われる中、まほろば自然農園では小難

程度の被害で済み、沢山のお手伝いも頂きながら、少ないながらも農園の野菜を求めて頂い



## 平成最後の歳 年頭のご挨拶

ている皆様の元にお届け出来たのは、至極幸いなことだったのかもしれませんが。

ある有名な農業誌にも、常態化しつつある異常気象やそれに伴う災害にどう向き合っていくべきかという特集が組まれるくらいに、かつての「異常」は今では「当たり前」を前提に考えていかななくてはならない時代に突入している、そんな状況下で今年も無事野菜をお届け出来るかは、正直未知数ではありますが、何れにしても「人事を尽くして天命を待つ」の心境で自分なりにベストを尽くしていくしかないと思います。

とは言いましても、まだまだ未熟で至らない「人事」の側面が多分にあることを改めて自覚

し、慢心することのないよう、原点を忘れないよう、畑の真ん中で、出来れば笑顔でいられるようありたいと思います。

今年一年もまた、まほろばと農園にお付き合いいただければ幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。



ビルマ語「おかげさまで」

日展会友 謙慎書道会理事 小田玉瑛 作

## ピースマイルさん



松森 正倫

あけましておめでとうございます！今年も自分の仕事を精一杯出来るように頑張っていきますので、よろしくお願いいたします！

※本店で、朝のお掃除  
をお願いしています。



佑川 純

あけましておめでとうございます。今年も宜しく。頑張ります。



西野 淳子

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。これからも掃除、頑張ります。



相馬 敏明

あけましておめでとうございます。今年もどうぞ宜しくお願いします。昨年より、もっとお店の中の清掃を頑張りますので、宜しくお願いします。

## 本店 OB

※本店 OB の助っ人のみなさんです！！  
本年もどうぞよろしくお願いいたします。



レジ  
外山 美奈子



バックヤード  
藤原 瞳



バックヤード  
早瀬 久美子



バックヤード  
木下 智代美



バックヤード  
小清水 心美



# 本店 スタッフ

# 2019



本店 パートリーダー  
安田 千賀

明けましておめでとうございます。今年は、もっと知識を深めてお客様に必要な商品や情報をお届けできればと思います。どうぞ笑顔溢れる楽しい一年となりますように。



本店 バックヤード担当  
佐藤 理香

あけましておめでとうございます。昨年も大変お世話になりました。お客様から教えていただくこともたくさんあり、楽しく働かせていただくことができました。ありがとうございます。

至らぬことも多々あるかもしれませんが、どうぞよろしくお願いいたします。



本店 バックヤード担当  
三宅 千幸

明けましておめでとうございます。昨年も仲間と助け合い、お客様からも温かい言葉をいただき、楽しく仕事することが出来ました♪ 今年も宜しくお願い致します。



本店 レジ担当 大西 亜美

年明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願い致します。皆様にとってよい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



本店 バックヤード担当  
工藤 元子

明けましておめでとうございます。今年も、仕事＆ライフワークの充実！を目指して行こうと思います。宜しくお願いします。



本店 バックヤード担当  
武藤 文彦

迅速かつ丁寧な下ごしらえで、お客様にとって価値あるお買い物体験をしていただけるよう努めていきたく日々精進してまいります。



本店 バックヤード担当  
桜庭 覚子

あけましておめでとうございます。昨年は自分の不甲斐なさを感じる1年となりました。今年は老眼と付き合いながら、小さいミスが無いように頑張りたいと思います。お客様とのつながりを大切に、今年もどうぞよろしくお願いいたします！



本店 レジ担当 山田 成子

新年明けましておめでとうございます。昨年は色々とお世話になりました。ありがとうございます。今年は一日一日を元気に過ごしていきたいと思っております。

お客様にとっても健康で元気な一年を過ごせるように何かお手伝いが出来ればと思っております。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



本店 レジ担当 坂田 則子

明けましておめでとうございます。

まだまだ未熟者ですが私らしくそしていつも笑顔で皆さんと共に今年1年を過ごしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



本店 荷造り発送担当  
佐藤 雅子

昨年中はありがとうございました。皆様が健康で過ごせますように。たくさんの素敵がありますように。



本店 鮮魚担当  
竹市 彰二

明けましておめでとうございます。今年もまた、沢山の美味しい魚を出しますので、よろしくお願い致します。頑張ります！



本店 事務担当  
石井 夕美

新年明けましておめでとうございます。昨年は震災などを通して色々な発見がありました。自分が出来ることは何かを考えて笑顔を忘れずに頑張ります。今年も宜しくお願い致します。

## 本店 ソフテリア



ベーカリー担当 西巻 華絵

新年明けましておめでとうございます。昨年もたくさんのパンを買って頂き、喜んで頂き、ありがとうございます。

今年も買って頂き喜んで笑顔を汚さないよう、イノシシの様に楽しく猛進して行こうかなと思っています。今年もどうぞ宜しくお願い致します。



ベーカリー担当 谷口 健太

皆さん明けましておめでとうございます。少し前からまほろばで働かせて頂いており、パンの仕込みや製造を担当しています。まだまだ未熟ですが今年はより一層美味しいパンを皆さんにお届け出来ればと思います。



惣菜担当  
島影 由佳里

今年もみなさまにとって良き年で、みんなが幸せになれる年でありますように…。惣菜も心を込めて作りますので、よろしくお願いします。

## 厚別店 スタッフ



厚別店 中川 久美子

新年あけましておめでとうございます。昨年も、御来店、配達のお客様、まほろばをご利用いただきありがとうございました。今年も一年、スタッフ一同笑顔で頑張ります。本年もよろしくお願い致します。



厚別店 木村 美由紀

新年明けましておめでとうございます。何かと至らない所もあると思いますが、本年も昨年同様ご指導の程よろしくお願い致します。スタッフ一同心よりお待ちしております。



厚別店 渡辺 陽子

明けましておめでとうございます。ここ数年、子育て世代のお客様が増え、お子様の笑顔に触れ嬉しく思います。至らない点も多いかと思いますが、今年も宜しくお願いします。



厚別店 佐藤 聡美

明けましておめでとうございます。昨年はいろいろありましたね。普通の毎日がとてもありがたく、顔が見られること、声を聞けることがとてもうれしく感じます。まほろばがお客様の喜びになりますように、ご来店お待ちしております。



厚別店 入江 美智代

新年あけましておめでとうございます。昨年は、たくさんのご来店ありがとうございました。今年もお客様が喜んでもらえるように、いい店づくりに努力していきたいと思っています。スタッフ一同心よりお待ちしております。



厚別店 服部 美枝子

新年あけましておめでとうございます。昨年は、台風や地震などの自然の災害などで、大変なことが色々ありましたが、今年は良い年になることを願い、本年もよろしくお願い致します。



厚別店 倉方 瑠子

あけましておめでとうございます。昨年も、まほろばで働き従業員や時にはお客様からもいろんなことを学ばせてもらいました。ありがとうございます。まだまだ至らぬ点があると思いますが、明るく丁寧な接客を心がけます。今年もよろしくお願い致します。